

## 日本地球惑星科学連合 2010 年大会首都直下セッションについて

2009 年大会に引き続き，2010 年大会においても本プロジェクトに関連した 2 つのセッションを開催します．平成 22 年 2 月 9 日に予稿投稿が締め切られ，現在はプログラム編成が行われています．発表スケジュール等については，3 月中旬に決定する見込みです．

以下に，セッションの概要と予稿投稿状況を示します．

## 1．首都直下地震防災・減災特別プロジェクト

セッション名：首都直下地震防災・減災特別プロジェクト

コンビーナ：酒井慎一（代表），平田直，佐藤比呂志，佐竹健治，瀧澤一起

スコープ：大被害をもたらす首都直下地震の全体像を解明し，その軽減と首都機能の維持に資することを目的とするプロジェクトが開始した．このプロジェクトでは，400 ヶ所の地震観測点を首都圏に構築して自然地震観測を行い，制御地震を用いた地殻構造探査や歴史地震等の記録の収集を通じて首都直下地震の詳細を明らかにすること等で，首都直下地震の長期予測の精度向上や，高精度な強震動予測につなげる．これに関連した研究を募集する．

予稿投稿状況：28 件（内，口頭希望 12 件）

## 2．Global Collaborative Earthquake Predictability Research

セッション名：Global Collaborative Earthquake Predictability Research

コンビーナ：平田直（代表），Danijel Schorlemmer，Matt Gerstenberger，楠城一嘉

スコープ：Recent earthquake predictability studies emphasize the importance of testing forecast models under global collaboration. The Japanese testing center is operating such tests for registered models. The findings may yield a better understanding of the models' basics, particularly physical aspects. Our session's focus will be predictability research in Japan, California, New Zealand and other regions.

予稿投稿状況：15 件（内，口頭希望 14 件）

以上